



平成 22 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 日立キャピタル株式会社
代 表 者 名 執行役社長 三浦 和哉
(コード番号：8586・東証第一部)
問 合 せ 先 執行役常務 百井 啓二
(TEL：03-3503-2118)

当社の親会社 株式会社日立製作所
代 表 者 名 執行役社長 中西 宏明

通期業績予想(連結)と実績値との差異に関するお知らせ

平成 22 年 1 月 25 日に公表しました平成 22 年 3 月期通期業績予想(連結)と、本日公表しました平成 22 年 3 月期通期実績(連結)において、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期業績予想(連結)と実績との差異 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

区 分	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	95,000	13,700	14,000	6,210	53 円 13 銭
今回実績 (B)	95,357	12,895	13,370	8,248	70 円 57 銭
増減額 (B)－(A)	357	△ 804	△ 629	2,038	－
増 減 率 (%)	0.4	△ 5.9	△ 4.5	32.8	－
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	107,943	17,580	17,544	12,122	103 円 71 銭

2. 修正の理由

当連結会計年度は、世界同時不況による景気後退局面から一部回復が見え始めたものの、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは「強靱な体質」への転換を図り、持続的成長に向けた事業基盤の強化に取り組んでまいりました。その結果、営業収益は前回発表予想を上回り、併せて更なる金融費用の削減ができました。

一方、特別損失処理を予定していた欧米の事業構造改革費用は、営業費用として貸倒引当金の積み増しの対応といたしました。

これらの結果、前回発表予想の営業利益、経常利益が減少し、当期純利益は増加いたしました。

以 上